

# カナンの風

2017年10月

No. 2



日本キリスト教団  
河内長野教会

**教会ではこんな集まりがあります。**

**主日礼拝** 日曜日朝 10 時 15 分～11 時半  
礼拝説教はHPにのせてあります。

**教会学校** 日曜日朝 9 時～10 時

**祈 禱 会** 木曜日朝 10 時～

**聖 歌 隊** 練習日第 2 日曜日礼拝後

**求道者会** 第 2、4 日曜日 午後 5 時～

**共に読み語る会** 第 3 日曜日礼拝後

**壮年会・婦人会** 第 4 日曜日礼拝後

聖書・讃美歌は用意しています。

**10 月～12 月のおもなスケジュール**

10 月 15 日(日) **教会研修会**

11 月 12 日(日) **召天者記念礼拝・墓前礼拝**

11 月 19 日(日) **大人と子どもの合同礼拝**

12 月 24 日(日) **クリスマス礼拝**

12 月 24 日(日) **午後 6 時 聖夜賛美礼拝**



河内長野教会墓地

## 牧師のメッセージ

「聖書は私(=イエス・キリスト)について証しをするものだ」。

(新約聖書 ヨハネによる福音書 5 章 39 節)

顕微鏡を覗くと小さな世界が、双眼鏡では少し離れた様子が、望遠鏡なら遠くの星々が見え、地球を包む宇宙に思いを馳せられます。

聖書は、自分を新しく知る顕微鏡のようであり、人間世界の呻きや悲しみに気付く双眼鏡のようであり、自分を見守り包んで下さる神様の愛を発見させ、神様の愛に思いを馳せさせてくれる望遠鏡のような書物です。

神様の愛は、キリストを証し紹介する聖書という望遠鏡でのみ見えてきます。教会の礼拝で聖書を覗いて、その言葉を味わえば味わうほど、神様の愛がグングン近くに迫って来て私たちを包み込んでいることに喜びを覚えます。

## 河内長野教会の歴史（その1）

河内長野にキリスト教が伝わったのは約500年前。烏帽子形城の領主・伊地智文大夫、甲斐荘正治がキリシタンとなり領民300人が洗礼を受けました。その後、秀吉や徳川幕府の禁教令で迫害され、流谷に200人が隠れキリシタンとして生き延び、信仰を守りました。

1900年頃、アメリカの宣教師がこの地を訪れました。革靴の上にわらじをはいて、喜多町の大日堂でイエス・キリストのことを人々に伝えました。わらじばきの宣教師といわれたA・Dヘール師です。

ヘール先生は大日堂で日曜学校を開きました。子どもたちが集い、おとなたちも先生の説教に耳を傾け、盛大なクリスマス祝会が開かれました。

1905年大阪府に認可申請し、河内長野教会の始まりとなりました。

## 河内長野教会へどうぞ！

日曜日の朝、教会には赤ちゃんから 100 歳をこえる方までいろいろな人たちが集まります。

たからかに讃美歌を歌い、祈り、  
聖書のお話を聞くために。

終わるころには、うれしい気持ちになり、  
今週も元気に過ごそうと、笑顔になっています。

神さまが私たちとともにいてくださる  
ことがわかるから。

教会は、そんなところ。

あなたもぜひ教会へおいでください。  
おまちしています。



## 日本基督教団 河内長野教会

牧 師 森田恭一郎

〒586-0016 河内長野市西代町 10-19

☎ & Fax 0721-52-2323

H P <http://www.eonet.ne.jp/~akaiyane/>

E メール [akaiyane@iris.eonet.ne.jp](mailto:akaiyane@iris.eonet.ne.jp)